

挑戦

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

平成 30 年 6 月 15 日 第 3 号 (18-3)

発行責任者：校長 関田 誠

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

6/4 校長朝会講話 『“いじる”という漢字を知っていますか？』の話 ～人で遊ぶな、人と遊べ～

6 月は東京都の『ふれあい月間』です。いじめアンケートを毎回おこなっていますね。今朝は友達関係について考えてみましょう。友達というのは実に楽しい時間です。みなさんは、友達は多い？それとも少ない？でも、そもそも友達って何でしょうか？友達とは、一緒にいて退屈しないように、ふざけあう仲間くらいに思っていて、それを『友達が多い』と思っている人はいませんか？

この漢字を読めますか？（生徒に質問する。
「分かる人？」「はい、〇〇君」「いじるです」
「正解です！素晴らしい」）そうです。『いじる』
ですね。私が最近よく耳にする嫌いな言葉に『人
をいじる』という言葉があります。『弄^{いじ}る』は『用
事もないのにやたらに手で触ったり、なでまわ



したりする』という意味です。この漢字を使った『愚弄^{ぐろう}する』という古風な言葉があります。『愚弄^{ぐろう}』の意味は、『相手を小馬鹿にしたり、からかったりして、その人格を無視したような扱いをすること』です。『弄^{いじ}る』と『愚弄^{ぐろう}』は紙一重。どちらも相手を不愉快にさせる狙いがひそんでいます。世の中（お笑いやバラエティ等のTV）には『いじる（軽い）<いやがらせ<いじめ（重い）』というような図式があって、（ちょっといじるくらいOK）という風潮があるように思います。名前やししゃべり方が違う、動作や反応が違う、髪型や容姿、体型が異なる。自分と違う人を、不愉快なあだ名で呼んだり、からかいの対象にする。まわりの人も、（またやってるよ）と鈍感になっていく…。

『いじる』という言葉が私が嫌いな理由は、『人で遊ぶ』行為だからです。『人で遊ばれて』楽しい人はいないでしょう。みなさんは友達や仲間とは、『人と遊んで』ほしい。いじってイライラさせる反応を引き出して、追いかけてこになったり、叩いたり蹴ったりするきっかけを作る。小さなことでも『人をいじって』トラブルを楽しむという心は、人として品が足りない下品な行為だと私は思います。それを理解してください。ぜひ、みなさんの間では、お互いを尊重^{リスペクト}しあう本当の友達関係を築いてください。これは私の切なる願いです。もう一度言います。大宮中生は『人で遊ぶな、人と遊べ』、優しい人間関係を築こうということです。😊

授業紹介 第2回

～最高の授業を目指して～

5/21 (月) 音楽 2B

ホワイトボードに授業の内容が示されています。この授業の『重点』：覚えたリズムの長さを使って、アンサンブルをする。『流れ』①今までの曲 3 曲、②リズムアンサンブル（パート別）、③アンサンブルと表示してあります。視覚的にも分かりやすいです。

いきなり「こんにちは～♪」で始まります。生



徒が照れずに右手を挙げるところが良いですね。先生のピアノが続き（この伴

奏ピアノがうまい！）、隣の人の肩に手を置いて、ほぐし合います。一気に気持ちが穏やかになります。続いて無声音を息長く吐き出す訓練。この流れが心地いい。発声練習に対して、よく声を出している生徒を、さりげなく誉めます。間髪入れず『夢の世界』の歌唱練習です。続いて『翼をください』の練習と畳みかけます。まだ音程が乱れますが、男子も女子もよく声が出ています。特に 9 人しかいない女子の声がよく響きます。今度は生徒を着座させて、顔の目や鼻の周りの蝶の形をした骨の図を見せます。「蝶形骨洞に響かせるために、目を見開いて鼻、目、頬骨に声を当てることを意識して」と指示します。それを意識して再度歌います。声の響きが変わったのが分かります。

『サンタ ルチア』。イタリア語の歌です。地声からベルカントを要求します。最後の「サンタール～チア♪」が決まりません。「ん～、いけてないね」という先生の評価。すぐにアンプでプロのソロを聴かせます。「姿勢が違う、息を吸えてない」「ものまねの上手い人は絶対歌が上手いですからね」「プロから盗む」次々に指示が出ます。生徒は再度挑戦します。見違えるように厚みのある声になりました。

後半はリズムアンサンブルです。プリントを使って、6パートに分かれて練習が始まります。床



に6つの輪になってすわって、電子ピアノのメトロノームの音に合わせて、手で拍子をとります。本当に楽しそうに拍子をとっています。最後に6パートで合わせました。聴いていて軽く鳥肌が立ちました。完成形が楽しみです。初めて見た手拍子アンサンブルのレッスンでした。最後に『まとめ』として、授業評価プリントに記入。

50 分を通して、一切無駄のない、何とも心地よい流れの授業でした。生徒は音を楽しむことに集中していました。まさに『音』を『楽』しむ…『音楽』でした。『私も受けたい授業』認定です！

5/30 (水) 保体 C組

体育館で 6 月の連合移動教室で行うバスケットボール大会の練習でした。まず、先生の合図で、整列、挨拶を元気よく行います。挨拶を大きな声で行うためにやり直します。その後、ラジオ体操を元気な声でおこないました。体操の体形は、



生徒の指示で「基準、体操の体形に開け！」で動きます。しっかり指示ができていました。指導の先生は、前で模範を見せます。体操の身のこなしが、しなやかで体が柔らかく、私はうらやましくなりました。指示の声がよく通り、C組の生徒もキビキビ動きます。体操の最中は、まわりで 4 人の先生が、サポートしています。

いよいよバスケットボールの練習です。独りずつボールを持って、まずボールを突く練習です。「手はパーではなく、少し丸めてボールに当てま

しょう」「膝を使ってリズムをとみましょう」指示が的確です。全員でドリブルしながら走る練習をしました。何回かおこなって、少し慣れてきたところで、リングに向かってドリブルしてシュートする練習です。他の先生方がディフェンスをしてドリブルで進む邪魔をします。先生も一緒に走り回ります。



保健体育の先生ですから、一瞬の身のこなしが素早い！最後に中央で輪になって、

「これから残りの時間にゲームをやります」と指示を出します。5対5にチーム分けして、片方が黄色いビブスを着ます。シュートを入れるリングを何度も確認して、並んで挨拶してから開始です。（うまくゲームになるかな？）生徒たちは一生懸命ボールを追って、ドリブルして走り回ります。戦う気持ちが全面に出て、それぞれのチームのシュートも決まりました。全員がとてもよく頑張っていました。これからの課題は、自分でボールを持った時に、ドリブルやシュートをするだけでなく、味方にパスをつなぐことができるようになることと良いですね。あっという間の45分でした。

6/6 (水) 数学 1A



今日は『正の数・負の数の計算』です。チャイムと同時に始まります。今日は、雨で運動会予行が流れてしまい、校内は何となくどんよりしています。しかし、授業が始まると1-Aの少人数の9名は、姿勢がピンとして集中しています。まずは、正の数と負の数が混ざった計算、いくつかの数の積から入ります。

(-2) × (+7) × (-3) の計算で、まず符号

を決めるため、先生は生徒と一緒に体と腕を使って、プラスが縦の腕、マイナスが横の腕で視覚化します。結果マイナスになることを確認していました。これぞ五感を使った授業です！分かりやすい！（後で写真を見て、昔懐かしいウルトラマンの姿に、その世代の私は二度目の感動。）

次に、累乗に入ります。同じ数を何回かけるかを表す便利な方法について学びます。右肩に小さな数字で、かける回数を表示する。これが指数。これを先生は、分かりやすく説明していきます。理解できたかを、2分間でペアの二人で説明し合って、定着を図るのが素晴らしい！



時間もデジタルタイマーを使って管理しています。キビキビと心地よく時間が流れます。欲を言えば、生徒同士がペア学習を行う時に、まだお互いにはっきりした声で伝え合うことが十分ではありません。モゴモゴ遠慮気味に取り組んでいる姿が、惜しいなあ…。

小人数教室の授業環境について触れます。大宮中の数学・英語の授業は、デジタル教科書と電子黒板をフル活用した授業です。視覚的に分かりやすく、効率的に授業がおこなえます。弱点は板書のスペースが狭いことです。理想は高校のような横長の黒板があれば、完璧なのですが…。また、空き教室を利用した少人数教室には、エアコンが設置されていません…。先日ニュースで、来年度から学校の教室環境は28℃を超えないという新たな基準（54年前にできた基準で、これまでは30℃でした）が、文科省から示されました。隣の1-Aの少人数の15人の普通教室はエアコンがあります。今日は気温23℃で快適です。今後、夏本番になると…かなり厳しい状況です。

お知らせ

年間行事予定の一部変更です。

- ・音楽発表会は抽選の結果、10/26（金）から10/31（水）に移動します。場所はセシオン杉並で実施します。
- ・6/15（金）お囃子（第一学年）、6/29（金）雅楽鑑賞（第二学年）は実施いたしません。

鎌倉校外学習 (第二学年)

5

15 (火)

第2学年で、鎌倉に校外学習に行ってきました。大宮小前からバス二台で向かいました。バスの配車が遅れた関係で、高德院到着後もスケジュールが厳しい中、大仏を拝観してから、大仏坂から源氏山公園までハイキングをしました。多くの生徒はスويسイ山道を登ります。他の小中学校の児童・生徒や外国人ハイカーとすれ違います。源氏山公園でお弁当を食べた後、一息つく間もなくそれぞれの班行動に分かれていきました。2時間後に鶴岡八幡宮の集合場所に、全班無事に集まってきました。来年度の修学旅行につながる活動ができました。



高尾山校外学習 (C組)

5

25 (金)

「高尾山を舐めてました」引率した濱田副校長の帰校した第一声でした。初高尾山は、想像していたよりも登りが厳しく、想定外の辛さだったとか。

C組の生徒は、主任の計画で、1か月前から体育館の階段上り下りのトレーニングを積んできました。仕上げは済美山グラウンドの周りを水筒や教科書などをつめた重いリュックをかついで、1列で1時間歩く練習もしました。その成果で、当日の登山中、途中で仲間と「がんばれ!」と励ましあって、急な坂をいくつもクリアしました。山頂のパノラマ景色を見た時は、全員で達成感につつまれた一日でした。



第70回 運動会

6

9 (土)

三日前の予行が雨で流れてしまい、前日8日(金)の午前中に予行実施、午後前日準備という慌ただしさの中で、当日を迎えました。

朝から太陽がまぶしい好天の下で開会式。朝の開会式から、ご来賓や地域・保護者の方に、ご多用の中でお越しいただき感謝しかありません。生徒の気持ちりが凛とした入場行進の後、運動会副実行委員長の力強い選手宣誓があり、大宮中生のキビキビした動きに、校長の私もワクワク感が高まります。

私は挨拶で、「3つの感『責任感』『連帯感』『達成感』に挑戦する先に、大きな『感動』を得よう」「達成感なく感動の残らない学校行事、運動会なんかやるだけ無駄です。ぜひ各学級、学年、各団で、笑って、泣いて、大声を振り絞って応援して体が震える1日にしましょう」という話をしました。

最初の全校生徒のラジオ体操は、見ていて美しい動きの生徒が多く、日頃の保健体育の授業



スローガン(合言葉)は…
“超えろ限界 つくれ伝説”

の雰囲気は伝わるようでした。午前中は、100m走、綱引きから始まりました。気温も28℃から35℃までグングン上がる中の長距離走で、選手たちは我慢をしながら、強い精神力で走り切りました。実行委員種目の大縄跳びは、伝説を期待したのですが、コンディション整わず残念でした。3年生はスタートで、ガツガツせず縄に向かう余裕の姿が伝統だそうです。色別リレーと続き、ほぼ時程どおりに昼食休憩。

午後はPTA・地域種目の玉入れがあり、校長・副校長も参加しました。ダンスは2・3年・1年有志でEXILE「Rising Sun」を踊りました。予行よりキレのあるダンスでした。終盤は全員リレーから各学年種目へ。最後の3年生の大むかでで最高に盛り上がりフィニッシュ! 3年生のリーダーシップが際立つ一日でした。

閉会式では、最後まで応援していただいた保護者・地域の方へのお礼に、校長の私と実行委員長と相談して、ダンスアンコールをおこないました。生徒のみなさん、ありがとう! 観客の皆さんに喜んでいただきました。332名の記名をしていただいた参観者がありました。今後とも応援よろしくお願いします。